

ellipse

[エリプス]

TOPICS

お茶の水女子大学の新たな拠点

ジェンダード・イノベーション研究所

～性差分析に基づく知識の再検討から

Well-beingの実現へ～

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

イベント情報
事務局よりお知らせ

お茶の水女子大学の新たな拠点 ジェンダード・イノベーション研究所

～性差分析に基づく知識の再検討から Well-being の実現へ～

2022年4月、お茶の水女子大学はグローバル女性リーダー育成研究機構内にジェンダード・イノベーション研究所を新設しました。

グローバル女性リーダー
育成研究機構

グローバルリーダーシップ研究所 (IGL)

- リーダーシップ養成に関する研究及び教育の拠点
- 男女共同参画推進の実施組織

ジェンダー研究所 (IGS)

- 日本におけるジェンダー研究の国際的研究拠点
- 高水準の研究プロジェクト実施
- 国際的学術ネットワークの構築

NEW

ジェンダード・イノベーション研究所 (IGI)

- 性差の視点に基づいた研究、イノベーション、社会発信を推進するハブ組織

ジェンダード・イノベーション（性差を深く分析し研究／技術開発のデザインに組み入れる考え方）は、科学技術分野におけるジェンダー平等の新しい施策としてアメリカから世界に広まり、近年日本でも注目されつつあります。実は私たちの身の回りには、男性の身体や視点がスタンダードとされているケースが多いのです。そこで、今回の TOPICS では、ジェンダード・イノベーション研究所が5月25日に開催した第1回目のセミナーの要点と同研究所の活動について紹介します。

1

ジェンダード・イノベーション研究所 第1回セミナー

「ジェンダード・イノベーションズとは？」

～性差を意識した研究と技術開発にむけて～ より

【講師】 佐々木 成江（ささき・なりえ）氏

ジェンダード・イノベーション研究所特任教授、社会発信部門長。2018年、経済産業省産業構造審議会研究開発・イノベーション小委員会委員。21年、内閣府男女共同参画会議計画実行・監視専門調査会委員。

(1) 歴史

ジェンダード・イノベーション（ズ）は、2005年にスタンフォード大学のロンダ・シービンガー博士が提唱した概念です。「これまで男性を基準や対象として研究されてきた医療や製品・技術開発について、積極的に性差（生物的な性差 = Sex と社会的に作られた性差 = Gender）の解析を行い、それらを創造的な力として研究や開発デザインに組み入れることで知を再検討し、イノベーションにつなげる」

という考え方で、「性差による差別や排除、不利益や不平等が生じない社会をどうやって作り出すか？」というSDGsの視点としても重要です。

ジェンダード・イノベーションズによって期待されること

- 新しい医療、製品、プロセス、サービスにつながる。
- 新しい市場とビジネスチャンスにつながる。
- グローバルな競争力と持続可能性の強化につながる。
- 女性活躍推進や女性が興味を持つ新しい分野創出につながる。

2009年に、スタンフォード大学でシービンガー博士を中心に Gendered Innovations プロジェクトが開始され、2011年から欧州委員会がこのプロジェクトに資金提供をして欧州の女性研究者らが参画したことにより、加速度的に研究が進みました。スタンフォード大学のHPには「科学」「保健と薬」「工学」「環境」分野の40例のケーススタディが紹介されています (<http://genderedinnovations.stanford.edu/>)。また、Horizon Europe (EUの研究・イノベーショ

ンを支援、促進するためのプログラム) は、2021 年より原則「すべての分野」において、研究デザインからデータ収集、分析まで、研究のすべての段階でジェンダー要因を検討することを「義務化」としました。

(2) 事例紹介

① 医学分野

これまでの学術研究や科学技術開発の中には男性を基準あるいは対象として行われたものが数多くあり、中でも医学分野はその傾向が強いと言われています。これは、女性(メス)は、妊娠・出産の可能性があったり、ホルモンによる性周期の影響を受けたりして、データがブレやすく、実験が難しいという理由で、あまり臨床試験や研究の対象とされてこなかったためです。

【医薬品】

ゾルピデムという睡眠薬は、2013年にアメリカでは女性の服用量が男性の半量に変更されました。女性の方が代謝されにくく、服用から8時間後の居眠り運転に5倍もの差があったためです(女性15%、男性3%)。代謝に性差がある薬は他にもありますが、このように実際に男女の服用量を変えた例はほとんどありません。

また、1997年から2000年にかけて、生命を脅かす健康被害のために米国市場から撤退した薬品10種のうち8種が、男性より女性の方が健康上のリスクが高いものでした。性差解析の不備は、人の命を犠牲にし、薬の開発に費やした莫大な研究費を無駄にすることにもなりかねません。

性差解析により新しい医薬品が開発されることもあります。オステオカルシンという骨ホルモンは、メスでは痩せる作用を示し、オスでは逆に太る作用があることを、九州大学の溝上顕子准教授が発見しました。溝上先生も学生時代、実験にはオスを使うように指導されたそうですが、やはりメスも使うべきだと考えたことが新たな発見につながりました。

【病気】

心臓発作による若い女性の死亡率は、同年代の男性の約2倍であることが知られています。若い女性は、血管の狭窄の仕方が男性や高齢の女性とは異なっているため、通常の検査方法では病気が見過ごされてしまうからです。また、新しい検査方法も開発されてはいるのですが、医師の側に「心疾患=男性」というジェンダーバイアスが残り、検査されないというケースも多くみられます。

逆に、「骨粗しょう症=女性」というジェンダーバイアスがあります。実際には、男女とも発症し、男性の発症年齢が女性より10年程遅いのですが、骨粗しょう症による骨折予防の臨床実験は男性を対象としてきませんでした。75歳以上では、骨粗しょう症の3分の1が男性であり、股関節

骨折後の死亡率は、男性の方が高くなっています。

② 工学分野

交通事故で重傷を負う確率は、女性の方が男性よりも47%高いという研究結果があります。また、胎児の死亡原因の第一位は交通事故です。これはシートベルトの安全性テストで使われるダミー人形が男性の体形をしていたことが一因で、現在は、女性や妊婦を考慮したダミー人形の開発や衝突実験が進められています。

また、VR酔い(VR機器の使用によって起こる乗り物酔いに似た症状)を訴える女性は男性の2倍以上という報告があります。もともと女性の方が乗り物酔いをしやすい傾向があるそうですが、立体視の方法に性差があり、現在のVRがより男性にフィットするように作られていることも関係している可能性があります。

一方、ジェンダード・イノベーションが実践され功を奏している例もあります。

農業就業人口の4割以上は女性が占めていますが、もっと女性の力を生かすために農林水産省が推進しているプロジェクト「農業女子」により、従来男性に合わせて作られていた農作業用の道具や機械が改良されています。様々なメーカーがこのプロジェクトと連携しており、例えば軽量・コンパクトな耕運機を開発し、操作やメンテナンスの解説もQRコードによって見られるようにしました。これは、男性や年配の方にも好評だそうです。

また、カリフォルニア大学では、女性がほとんどいない流体力学の研究室が、研究目的をHIV殺菌ジェルに変えたところ、女性研究者が大幅に増加したそうです。このように、ジェンダード・イノベーションを推進することで、理系や工学系において女性たちが興味を持つ分野が創出されることも期待できます。

③ ロボットやAIの分野

本来性別のないものにジェンダーバイアスが入り込んでしまうことが問題になっています。

ヒューマロイドロボットは、会話やコミュニケーションを重視するものは女性、それもなぜかジェンダー強調された美しい女性がモデルになっているのに対し、物理的ロボットやレスキューロボットは男性的なものが多くなっています。

また、AIアシスタントの音声は女性であることが多いことも問題です。最近、Siri(Apple)は男性も選べるようになりましたが、アレクサ(Amazon)は女性のままです。この点について、ユネスコは「女性は従順で扱いやすく、人助けをしたがり、頼まれたらすぐに対応する(秘書的)」というバイアスを助長する」と懸念を示しており(2019年「I'd

blush if I could]), 「Q」などジェンダーレスな音声の開発も進められています。一方、ビジネスや医療、金融、人材サービス、クイズショーなど専門性が高い分野や高度なスキルが求められる仕事をこなす AI には、男性を連想させる名前 (Watson, IBM) がつけられています。

顔認識の正確さにも性差が生じています。一番精度が高いのが白人の男性 (誤認識率 0.8%)、最も精度が低いのが色の浅黒い女性 (誤認識率 34.7%) です。これはシステムのトレーニングに使用されるデータに白人男性が多く使われているというジェンダーバイアスによるものです。また、性差だけではなく、人種や年齢、地域性、社会経済的状况などの多様性が重なり合うこと (交差性) も考慮する重要性が唱えられています。

4 フェムテック (Femtech)

今ホットな「フェムテック」はジェンダード・イノベーションの一つです。Female と Technology を合わせた造語で、「女性特有の健康の課題をテクノロジーで解決していこう」という分野です。

2000 年に誕生した「ルナルナ」(月経管理アプリ) は、日本におけるフェムテックの草分け的存在で、以後、妊活や骨盤底筋トレーニング用のデバイス、搾乳機などのウェアラブル機器、マンモグラフィに代わる乳がんの診断装置といった多岐にわたる製品が開発されています。2020 年にはフェムテック推進議員連盟が発足し、2021 年には経済産業省が「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」を立ち上げ、大手企業も続々参画するなど「フェムテック元年」と言われています。

(3) 日本での動き

日本で、政府の文書で最初にジェンダード・イノベーションが取り上げられたのは、2019 年の経済産業省産業構造審議会研究開発・イノベーション小委員会の中間とりまとめではないかと思えます。私は委員として、この概念の紹介と併せて「日本はこの分野においても非常に立ち遅れており、早急に対応する必要がある」と書きこむことを提案しました。その後、第 5 次男女共同参画基本計画 (2020 年 12 月閣議決定) では「第 4 分野 科学技術・学術における男女共同参画の推進」に「性差等を考慮した研究・技術開発が求められる」という文言が入り、第 6 期科学技術・イノベーション基本計画 (2021 年 3 月閣議決定) には「研究のダイバーシティの確保やジェンダード・イノベーション創出に向け、指導的立場も含め女性研究者の更なる活躍を進めるとともに、自然科学系の博士後期課程への女性の進学率が低い状況を打破することで、我が国における潜在的な知の担い手

を増やしていく」と明記されました。

今後は、その実現に向けて、提言活動を積極的に行い、性差を考慮した研究・技術開発への助成制度やジェンダード・イノベーションの推進拠点を整備していく必要があります。

2 ジェンダード・イノベーション研究所 (IGI) <https://www.cf.ocha.ac.jp/igi/>



この研究所は、日本初のジェンダード・イノベーションの推進拠点です。「研究」による課題の可視化、「イノベーション」による研究成果を具現化したモノ (製品) やコト (サービス) の検討と創出、「社会発信」によるイノベーションの提供という 3 つの部門の活動から、多様な幸せ (Well-being) を実現できる社会の構築に寄与することを目指します。

去る 6 月 17 日には設立記念キックオフシンポジウム「新たな産官学連携の創生に向けて」を開催しました。そのタイトル通り、企業・行政機関・他の研究所等と連携した様々な研究プロジェクトを始動し、セミナー、シンポジウム、カンファレンス等を積極的に実施していきます。同研究所の Web サイトをぜひご覧ください。

2022 年度学内公募による研究プロジェクト

【産学連携型】

- ・教育施設におけるインクルーシブなトイレ環境の形成に向けたオールジェンダー対応型共用トイレ導入に関する研究
- ・高齢者のキッチン環境改善のためのジェンダード・イノベーション
- ・ジェンダーバイアスの発見のためのデータサイエンスと情報可視化

【他機関連携型】

- ・緑内障予防・治療のための行動変容：心理学的エビデンスにもとづくイネーブラー技術の実装
- ・性差・個体差を踏まえた脳内情報処理機構の解明に基づくテラーメイドな情報提供手法の構築
- ・「異性介護」に伴う問題解決に向けた課題抽出とアンケート調査
- ・調理動作データベース構築とジェンダー分析—男女共同参画のための家事支援：女性活躍の進む福井県のケースから—
- ・血栓症発症の性差要因に関する糖鎖科学的研究

(協力：お茶の水女子大学ジェンダード・イノベーション研究所)



夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

猛暑とコロナ自粛のダブルパンチで、体力が奪い取られていくような危機感を覚える今年の夏でございましたが、皆さまいかがお過ごしになられたでしょうか。

夢のつばさプロジェクトでは、2022年も夏の宿泊行事が中止になり、せめても1日、様々な予防策を講じながら日帰り交流会をしようかと決断して、学生たちは一生懸命準備を進めておりました。仙台市に開催会場を手配し、岩手や福島の子どもたちは、盛岡駅や郡山駅に集合して、それぞれ送迎担当となった学生と一緒に、新幹線で仙台へ向かって半日を過ごすという計画でした。

けれども願いむなく、オミクロン後発株がどんどん隆盛になり、結局、交流会も中止となってしまいました。それでも学生たちはくじけることなく、交流会が予定されていた8月20日に、『真夏の夜のラジオ』というオンラインのイベントを実施しました。Zoomを使って集まり、学生たち数名がそれぞれの想いを語りました。室伏先生や社会人スタッフも応援して視聴し、「アクティブ・ラーニングの良い試みだ」という感想も出て、学生たちを励ました。

また、子どもたちに向けて、学生が毎月発行している新聞『つばさタイムズ』は、今年度は、「リレーションを中心に記載するもの」と「学生たちの学びを中心に紹介するもの」の2種類に分けています。

7月にはGoogle社に就職した元・学生ボランティアの一人からの連絡で、Google社のボランティア企画と夢のつばさの子どもたちへのキャリア形成企画をドッキングさせる試みを行いましたので、今回は特別号として、その報告を兼ねた『つばさタイムズ』を発行しました。

そして、学生たちの学び紹介号では、東北から夢のつばさの活動に参加した子どもの一人が、現在は夢のつばさの学生スタッフとなり、自身が学んでいる東京の大学の授業からのエピソードを掲載しています。「重い飛行機がなぜ飛べるのか」というテーマで飛行機の翼の構造を解説するなど、子どもたちの興味を促すように工夫された内容は、私たち大人スタッフにとっても楽しい読み物となりました。コロナ禍の中でもそういった工夫満載の郵送物を子どもたちの元へ届けています。



この夏の選挙では、社会を揺るがす大きな事件も起こりました。コロナ感染症の影響下では、授業がオンライン化したりグループ活動が制限されたりして、皆で集まって気の置けない話に興ずることも難しくなっているとされています。各大学でも、スポーツや音楽などのサークルを装って真面目な学生を宗教団体や詐欺まがいの投資話に引き込む反社会的団体から、学生を守るために、注意喚起に努めている状況があります。

夢のつばさプロジェクトには、いつも心優しい学生たちが集って、本当に良い仲間となり、子どもたちを思いやり、様々な計画を立てて活動しています。こうした社会情勢から、警戒心が高まり参加する学生が減ってしまわないかと、少し気がかりですが、たくさんの方々の応援や信頼を抛り所としながら、これからも子どもたちの成長に寄り添って参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

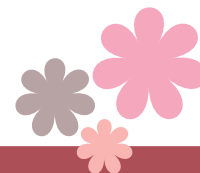
【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

連絡先: 事務担当 滝澤公子 TEL&FAX: 03-5978-5362 E-mail: tsubasa@npo-ochanomizu.org



お茶の水女子大学 イベント情報

2022年11月以降に開催される各種イベントのお知らせです。※いずれも参加費は無料です。

開催日時	イベント・講座名	備考
2022年		
11月2日(水) 13:30～16:30	<p>ヒューマンライフイノベーション開発研究機構シンポジウム「健康で心豊かな“人生”を科学する～こことからだ～」</p> <p>○基調講演 【講師】 大隅典子教授(東北大学副学長:神経発生学/発生発達神経科学)</p> <p>○ヒューマンライフサイエンス研究所より 藤原葉子所長・市育代准教授・宮本泰則教授</p> <p>○人間発達教育科学研究所より 大森美香所長・大多和直樹准教授・高橋哲准教授</p>	<p>【会場】お茶の水女子大学(オンライン)</p> <p>【主催】ヒューマンライフイノベーション開発研究機構 ヒューマンライフサイエンス研究所 人間発達教育科学研究所</p> <p>【対象】一般公開(要事前申し込み、10月31日(月)締切)</p> <p>【詳細】https://www.ocha.ac.jp/event/d011381.html</p> <p>【申込み】上記HPまたは右記QRコードにて https://bit.ly/3CrRTps</p> <p>【問合せ】info-iehd@cc.ocha.ac.jp</p> 
11月4日(金) 14:30～17:30	<p>アフガニスタン女子教育支援20周年記念シンポジウム「地域紛争の女子教育を通じた国際協力活動のあり方」</p> <p>○基調講演 【講師】 杉村美紀教授(上智大学総合人間科学部教育学科)</p> <p>○講演 【講師】 青木健太氏((公財)中東調査会)</p> <p>○五女子大学の学生による国際協力活動の報告&パネルディスカッション</p>	<p>【会場】ハイブリッド(お茶の水女子大学微音堂&オンライン(Zoom))</p> <p>【主催】お茶の水女子大学</p> <p>【後援】文部科学省</p> <p>【詳細】https://www.ocha.ac.jp/news/d011357.html</p> <p>【申込み】https://forms.gle/moFe4cavjasbEY8Y6 ※10月31日(月)17:00まで</p> <p>【問合せ】info-cwed@cc.ocha.ac.jp(グローバル協力センター)</p>
11月6日(日) 14:00～15:30	<p>第35回リケジョー未来シンポジウム</p> <p>【講師】 伊藤舞花氏(株式会社ベネッセコーポレーション) 柴田紗知子氏(弁理士法人あしたば国際特許事務所)</p>	<p>【形式】ハイブリッド(お茶の水女子大学国際交流プラザ2F多目的ホール&オンライン(Zoom))</p> <p>【主催】理系女性育成啓発研究所</p> <p>【対象】女子中学生・高校生、保護者、教員、女子大学生・大学院生</p> <p>【詳細】http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/</p> <p>【申込み】HP内の専用フォームにて</p> <p>【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp</p>
11月18日(金) 16:40～18:10	<p>グローバルリーダーシップ研究所セミナー</p> <p>【講師】 佐野真由子氏(京都大学大学院教育学研究科 文化政策学分野教授、2025年大阪万博理事)</p>	<p>【会場】ハイブリッド(対面&オンライン(Zoom))</p> <p>【主催】グローバルリーダーシップ研究所</p> <p>【対象】本学学生・教職員・一般(事前登録制)</p> <p>【詳細】https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/index.html</p> <p>【申込み】HP内の専用フォームにて</p> <p>【問合せ】info-leader@cc.ocha.ac.jp</p>
11月20日(日) 14:00～16:00	<p>第3回女子中高生のためのVR体験セミナー</p> <p>【司会】 伊藤貴之氏(お茶の水女子大学基幹研究院教授、文理融合AI・データサイエンスセンター長)</p> <p>○講演「私たちが新しい環境を創造する方法」</p> <p>【講師】 長澤夏子教授(お茶の水女子大学生活科学部人間・環境科学科)</p>	<p>【形式】オンライン(cluster ※VR専用SNS) YouTubeにてライブ配信</p> <p>【主催】理系女性育成啓発研究所</p> <p>【対象】女子中学生・高校生</p> <p>【詳細】http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/</p> <p>【申込み】HP内の専用フォームにて</p> <p>【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp</p>
12月18日(日) 14:00～16:00	<p>第2回女子中高生のためのDXセミナー</p> <p>【講師】 安間裕氏(アバナード株式会社)</p>	<p>【形式】オンライン(Zoom)</p> <p>【主催】理系女性育成啓発研究所</p> <p>【対象】女子中学生・高校生</p> <p>【詳細】http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/</p> <p>【申込み】HP内の専用フォームにて</p> <p>【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp</p>
12月23日(金) 16:40～18:40	<p>国際シンポジウム“Climbing up the Glass Cliff: Another Invisible Barrier Behind the Glass Ceiling?”</p> <p>【講師】 ミシェル・ライアン教授(オーストラリア国立大学)、小久保みどり教授(立命館大学)、ヘレン・ピーターソン教授(エレブール大学(スウェーデン)) ※日英同時通訳あり</p>	<p>【会場】ハイブリッド(対面&オンライン(Zoom))</p> <p>【主催】グローバルリーダーシップ研究所、ジェンダー研究所</p> <p>【対象】本学学生・教職員・一般(事前登録制)</p> <p>【詳細】https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/index.html</p> <p>【申込み】HP内の専用フォームにて</p> <p>【問合せ】info-leader@cc.ocha.ac.jp</p>

開催日時	イベント・講座名	備考
2023年		
3月21日(火) 14:00～17:00	心理臨床相談センター第2回公開セミナー 【発表者等】 山田美穂氏・石丸徑一郎氏・砂川芽吹氏・高橋哲氏(お茶の水女子大学心理臨床相談センター相談スタッフ)、他	【会場】 オンライン(予定) 【主催】 お茶の水女子大学心理臨床相談センター 【後援】 人間発達教育科学研究所「発達臨床支援研究」部門 【対象】 一般公開(学内教職員、本学学生・院生、OG、地域住民、心理職) 【詳細】 【申込み】 【問合せ】 後日、HP等で案内予定

2022年度 ブータン連続セミナー「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ」 (外務省「2022年日本・南西アジア交流年」認定事業)

【会場】 オンライン(Zoom)

【主催】 グローバル協力センター、日本ブータン研究所

【対象】 お茶の水女子大学関係者・一般

【参加費】 無料

【詳細・申込み】 グローバル協力センター HPのイベント情報をご覧ください。

<https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/>

【問合せ】 hirayama.takehiro@ocha.ac.jp

(グローバル協力センター講師 平山雄大)

2022年 開催時間 14:00～16:00

第13回	11月12日	『トラベリックスⅢ 世界体感旅行』「ブータン(ティンプー)」(2011年)
第14回	11月26日	『トラベリックスⅢ 世界体感旅行』「ブータン(パロ)」(2011年)
第15回	12月17日	『ASIA・テレビは面白い』(ブータン部分抜粋版)(2002年)他



2023年 開催時間 14:00～16:00

第16回	1月7日	『秘境ブータン(1) 王都の仮面祭り』(1983年)
第17回	1月14日	『秘境ブータン(2) 幻の王家の谷へ』(1983年)
第18回	2月11日	『A King is Crowned』(インド政府公式記録映像・1974年)
第19回	2月25日	『The World About Us』[Letter from Thimphu](イギリス・1968年)
第20回	3月11日	『Prime Minister Visits Bhutan』(インド政府公式記録映像・1958年)

お茶大女性リーダー育成塾：^{き いん じゅく} 徽音塾 2022年度

詳細と各申込は、徽音塾ホームページ <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/> をご覧ください。 ※「きいんじゅく」で検索可能です。

2022年度 開催概要

時間	13:30～16:40(すべて土曜日)
形式	Zoomを使うオンライン講座 ※PCでの受講を推奨します ※1科目から受講いただけます ※最新情報はHP、Twitterをご覧ください。
	  HP Twitter

2022年11月～2023年2月開催の講座

ビジネス講座(B)は、一般的なビジネススクールで学ぶ内容を厳選し、本学独自の視点を加えた講座です。

※1科目から受講することができます。

2022年 開講科目	
(B)	11/5・12 働く女性のためのマーケティング「マーケティング入門」(神原理)
(B)	12/3・10 働く女性のための表現力とコミュニケーション術「文字・声・画像が創り出す印象とコミュニケーションへの応用」(内藤章江)

2023年 開講科目	
(B)	1/14・21 働く女性のための意思決定とセルフエフィカシー「貴女のリーダーシップを磨くよりよいキャリアを積むために」(高田朝子)
(B)	2/11・18 働く女性のための法政策・法制度「働くあなたを守る、知っておきたい労働法」(内藤忍)

【入塾料および受講料】

★入塾料(税込) 初回申込時のみ必要となります。

お茶の水女子大学の卒業生・修了生 法人等団体からの申込	無料
その他(上記以外の個人で申込の方)	1,100円

★受講料(税込)

(B) ビジネス講座 1科目 15,400円 ※2日分

<お問合せ・連絡先>

お茶大女性リーダー育成塾：徽音塾 事務局

E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

桜蔭会よりご案内

桜蔭塾

懐かしいお茶大の先生方や、桜蔭会会員の方を講師に迎え、オンラインでお話を聴くことができる、会員と在学生のための学びの場です。
詳細：http://www.ouinjuku.com/



2022年11月以降に予定されている講座

開催日時	開催方法	講師	テーマ
2022年 11月26日(土) 14:00~15:30	Zoom	五戸 美樹氏 (フリーアナウンサー・桜蔭会会員)	声が良くなる話し方～普段の声をもっと素敵に～
2023年 1月29日(日) 14:00~15:30	Zoom	植木 朝子先生 (同志社大学 学長)	『梁塵秘抄』の世界～平安時代の流行歌～
2023年 3月25日(土) 14:00~15:30	Zoom	シーラ クリフ氏 (着物研究家)	着物にみるファッションの歴史～A Fashion History for Kimono～

就活応援・「ZoomでOG訪問」

学生さんお申し込み＆OGアドバイザー募集中！

新規アドバイザー登録
大歓迎！

桜蔭会の新プロジェクト、在校生向けの就活応援「ZoomでOG訪問」がスタートしました。お茶大を卒業した先輩に就活や入社後のことを聞いてみませんか？

【登録のOGアドバイザー】

編集者・美術館学芸員・弁護士・文系研究職・理系研究職・国際機関職員・一般企業・公務員・キャリアコンサルタント など

学生OG訪問
お申込み



OGアドバイザー
ご登録



第73回徽音祭

2022年11月12日(土)・13日(日)

今年の徽音祭は「ハイブリッド開催」です

大学構内にお客様を入れて対面で企画を実施すると同時に、オンラインでも一部の企画を楽しめる開催形態のことを指します。入構は予約制となり、お客様の人数は制限されますが、対面とオンラインを掛け合わせ、できるだけ多くの方にご参加いただける学園祭を目指します。

企画の詳細やご予約、当日の入構についてはホームページをご確認ください。

HPはこちら

- ・徽音祭公式Twitter @kiin73rd
- ・きいちゃんTwitter @kichan_kiinsai
- ・徽音祭公式Instagram ocha.kiin

お問い合わせ：kifc2022@gmail.com
(第73回徽音祭実行委員長 小笠原香織)

お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

1. 2023年度 共催講演会・助成金事業を募集しています

<https://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>

【対象となる事業期間】2023年4月1日～2024年3月31日

【申請受付】<第一次> 2022年10月1日～11月30日

<第二次> 2023年4月1日～5月31日

○ 共催講演会－参加予定人数が50名以上の講演会が対象（オンライン、ハイブリッド開催を含む）。講師謝礼金の助成（上限3万円）、講師交通費（実費）の支給、広報協力等。

○ 助成金事業－以下の事業に対し助成金（事業費の2分の1以内、1件につき10万円まで）を支給。

- (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- (2) 学術関連等の出版事業
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

2. お茶大関連グッズを通信販売しています！

- ・ HPの注文フォーム、メール、電話、FAXでご注文を受け付けます。
- ・ 日本全国に配送いたします。※送料は実費をいただきます。
- ・ 代金は商品到着後、ゆうちょ銀行またはりそな銀行の口座にお振込みください。



品名	定価(税込)
お茶大ゴフル	648円
一筆箋	396円
クリアファイルA4	132円
クリアファイルA5	110円
絵はがき	88円

詳細はHP「お茶大関連グッズ」をご覧ください。

<https://www.npo-ochanomizu.org>

【ご連絡・お問合せ】

お茶の水学術事業会事務局 Email: info@npo-ochanomizu.org TEL: 03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

編集後記

TOPICSにも登場したウェルビーイング(Well-being)という言葉を見聞きする機会が増えました。「幸福」と訳されることもありますが、ハピネス(Happiness)が一時的な感情であるのに対し、身体的・精神的・社会的に満たされた状態が持続することを指すそうです。字面や響きの親しみやすさに反して難しい！

広告募集

このページに広告を掲載しませんか？次号は2023年2月に2500部発行予定です。会員の皆様ははじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3号館 204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org

<https://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合わせの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地

東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分
地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分
都バス
大塚2丁目バス停すぐ